

平成23年度 大田区立蒲田小学校 学校経営方針 概要

大田区立蒲田小学校長 岡村 克志

1 学校の教育目標

(平成22年度から新たな教育目標になりました。)

人権尊重の精神を基調とし、知性と感性、道徳的実践力や体力をはぐくみ、平和で幸福な国際社会を築く人間性豊かな児童の成長を願い、次のように教育目標を設定する。

◆ よく考えやりぬく子【知・自立】

自ら進んで学び、よく考えて、最後まであきらめずに目標を達成する子どもを育てる。

◆ 心豊かでやさしい子【徳・共生】

豊かな情操と思いやりにあふれ、共に助け合い支え合うことができる子どもを育てる。

◆ 健やかでたくましい子【体・健全】

心と体が健康で、何ごとにも意欲と誠意をもち、力強く取り組む子どもを育てる。

2 学校経営の基本姿勢

教育目標の達成と、「共に生き、共に学ぶ学校づくり」の実現に向け、“チーム医療※1)の考えを基盤とした組織”と“教育相談の姿勢※2)を活かした児童へのかかわり”を重視し、次のような蒲田小学校を創る。

(1) 子どもたちが誇れる学校

- ① 授業がよくわかり、学習の向上が実感できる。
- ② 一人ひとりの子どものよさが十分に発揮でき、自尊感情が高まる。
- ③ 子どもたちに互いのよさを認め合い、支え合う関係が築かれる。

(2) 保護者が応援してくれる学校

- ① 子どもが登校することを楽しみにする。
- ② 子どもへの指導が丁寧で安心できる。
- ③ 保護者の要望や悩みに誠実に応じてくれる。

(3) 区民に信頼される学校

- ① 教育活動に魅力があり、その目的がわかりやすい。
- ② 子どもが素直に育ち、学校に活力が感じられる。
- ③ 教育環境の整備が行き届いている。

※1 医療現場では、一人の患者に対し、関係の専門家がチームを編成して対応する。学校においても、そのシステムを取り入れ、組織的な対応を強化する。

※2 ◆子どもを多面的・総合的にとらえ、「そのまま・つづけて・まるごと」受けとめる。

目の前にいる子どもを多面的・総合的に理解するために、以下のことに留意する。

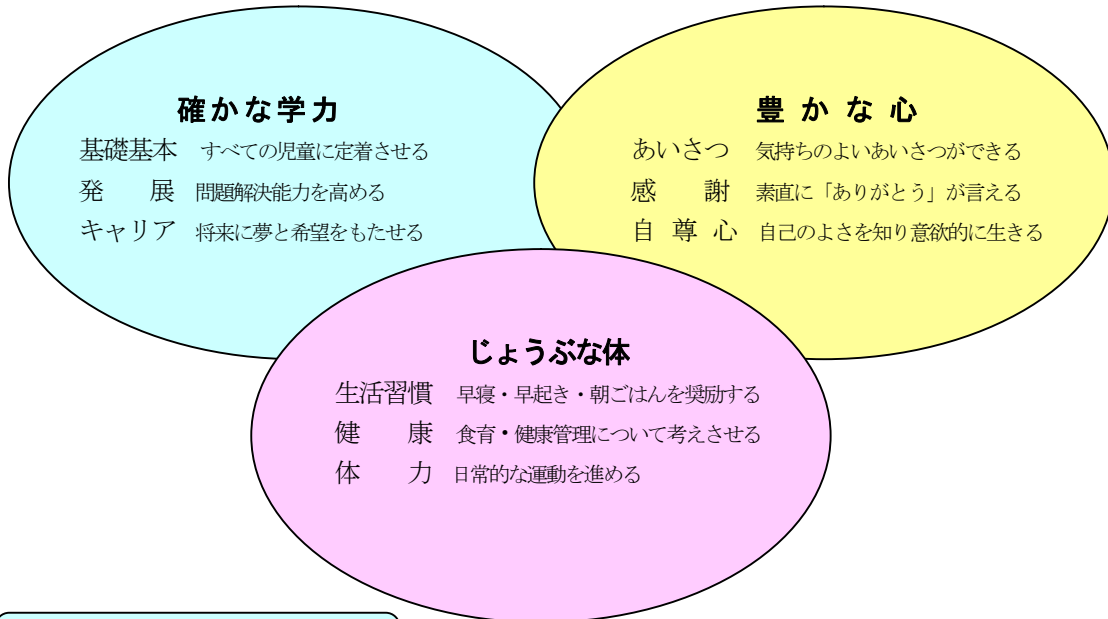
○先入観をもち、今現在の子どもの気持ちや行動の意味を**そのまま**理解する。

○家庭での出来事を含む一日の生活の流れや、これまでの経験等を**つづけて**理解する。

○言動の背景や生育歴等を踏まえ、現象だけではなく、人間としての全体像を**まるごと**理解する。

愛情を基盤とした教育実践

学校の自主・自律を確立し、組織的な実践を積み重ね、その成果を広く公開する。



3 本校の職員に願うこと

子どもは地球の宝

《子どもたちに優しく強い心をはぐくんでほしい》

人を尊ぶ子、人と和をもてる子、そして、自分を愛する子を育てるために、私たちが自ら子どもたちに温かいまなざしと、無条件の愛情をそそぎましょう。優しい表情と言葉(和顔愛語)で受け入れられた体験をもつ子どもは自他を愛せる子どもになると信じます。

また、「ならぬことは ならぬものです(※)」の精神に基づき、子どもたちに、自己を律する正直で強い心を養いましょう。そのために進んでその模範を示しましょう。

《^{いのち}生命のいとなみを感じられる感性をはぐくんでほしい》

子どもたちがこの世界に生まれたことの意義と、自分の進むべき道を考えることを通して、親や支えてくれる周囲の人々に感謝の気持ちを抱けるようにしましょう。

人は誰もが幸せになる権利があります。自分の思いや願いを実現するために、かけがえのない生命の炎を全力で燃やし続けたいと願っています。そのために、子どもたちが生まれてきた喜びを十分に感じられるよう一人ひとりに自尊感情を育てましょう。

《いつまでも学びつづける意欲をはぐくんでほしい》

学ぶことにより豊かな知識を身に付けるとともに、幅広い経験を積み重ね、子どもたちが、それぞれの輝かしい未来に向けて、たくましく歩いていけるように導きましょう。そのために、個に応じたきめ細かいかわりに努めましょう。子どもたちがいるからこそ、私たちは職員であることができるのです。主体は、いま目の前にいる子どもたちです。

自分の子どもを思い出してみましょう。

※会津藩校日新館「仕の掟」より引用